

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名 : REC(超高純度ヒト間葉系幹細胞)

製品番号 : REC-LU-05

推奨用途及び使用上の制限 : 試験研究用

供給者 : PuREC 株式会社

住所 : 〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話番号 : 0853-25-3033

FAX : 0853-25-3032

緊急連絡先電話 : 0853-25-3033

### 2. 危険有害性の要約

製品の GHS 分類、ラベル要素

GHS 分類

GHS 分類区分に該当せず

GHS ラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

### 3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択 : 混合物

成分名	CAS No.	化審法	化審法番号	含有量(%)
ジメチルスルホキシド	67-68-5	-	2-1553	10%
無機塩類	-	-	-	10%以下

### 危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

### 4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の場所に移し、安静保温に努めて、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

直ちに流水で洗い流す。

直ちに医師の手当てを受ける。

#### 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

意識のある場合はコップ 1-2 杯の水、牛乳を飲ませる。

意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。

直ちに医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

火災の場合は泡、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガス、水を使用すること。

### 特有の危険有害性

火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。

### 消火を行う者への勧告

#### 特有の消火方法

火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。

移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。

### 消火を行う者の保護

消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。

状況に応じて呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

### 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

火気厳禁とし、漏出した液は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。

作業の際には必ず保護具を着用する。

風下で作業しない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

## 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

-180°C以下で保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

ACGIH 許容濃度データなし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

保護具

呼吸用保護具

状況に応じて呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

状況に応じて保護手袋を着用する。

眼の保護具

状況に応じて保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

状況に応じて保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：水溶性液体

色：無色の澄明な液

臭い：わずかに特異な臭いがある

pH：7.0～9.0 (20°C)

溶解度

水に対する溶解度：溶ける

## 10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

#### 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

局所効果データなし

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)データなし

吸引性呼吸器有害性データなし

#### 12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水溶解度

(ジメチルスルホキサイド)

混和する (ICSC, 2000)

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

(ジメチルスルホキサイド)

log Pow=-1.35 (calculated) (ICSC, 2000)

土壤中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

#### 13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

#### 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

#### 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

労働安全衛生法に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

## 16. その他の情報

### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2017 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012 年)

JIS Z 7252 (2014 年)

2016 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成 28 年度) です。